



新年あいさつ

あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から一般社団法人都城国際交流協会の活動に御理解と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年、協会では各種のイベントを開催し、会員の皆様をはじめたくさんの方にご参加いただきました。お礼を申し上げます。

また、第2、第4日曜日に都城市国際交流センター(都城市北別館)を開所し、日本語練習会の開催及び外国人への情報提供などを行っております。

また、第2、第4木曜日は午後8時まで同センターを開所しております。

都城市には、48か国、2851名(2025年11月現在)の外



国人が居住しています。毎日の生活の中で、外国の方々と接することが多くなつたと感じておられる方も多いと思います。

当協会では、外国文化の紹介、外国の方々との交流、また外国の方々が都城圏域で生活するための情報を発信し、異なる文化、言語の方たちとの共生、国際理解を進めるために少しでもお手伝いができればと思っております。

令和8年2月8日(日)には都城市総合文化ホールで「ワールドフェスタ in みやこのじょう 2026」を開催します。是非ご来場ください。

今年も皆様にとっていい年でありますことをお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 都城国際文化交流協会
代表理事 西田貞敏

～協会からのお知らせ・インフォメーション～

◇ワールド・フェスタ in みやこのじょう 2026開催!

ワールド・フェスタ in みやこのじょう 2026を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

日 時: 2026年2月8日(日曜日) 12:00~16:30

会 場: 都城市総合文化ホール

参加料: 無料

内 容:

- ・世界の様々な国の人との交流・遊び体験
- ・海外のダンスや外国人による演奏など
- ・国際交流・協力団体などの活動紹介パネル展示



※ウォークラリーで、先着150人に景品があります

◇お問合せ先:
(一社)都城国際文化交流協会電話
0986-23-2295
E-mail
mia@btvm.ne.jp

◇女性×外国人 防災講座 参加者募集!

わかりやすい日本語で行われる防災講座に参加しませんか。

日時: 2026年2月21日 (土) 10:00~12:00

場所: 三股町中央公民館

対象: 女性 30人

※日本人も外国人も参加できます。

※通訳はいりません。わかりやすい日本語ではなしません。

参加費: 0円 (おかねはいりません)

申込み: 電話、メール、Googleフォーム

締切: 2月7日 (土)

お問い合わせ先:

公益財団法人 宮崎県国際交流協会

電話: 0985-32-8457

E-mail: miyainfo@mif.or.jp

申込みはこちらへ→



～モンゴルからの便り～

都城市役所 職員 近藤遙佳

MIA NEWSをご覧の皆様、こんにちは。私は、在モンゴル日本大使館の近藤遙佳と申します。私は、平成29年度に都城市役所に入庁し、都城市で働いておりましたが、ご縁があり、2年間という期間限定で現在モンゴルの地で働いております。モンゴルには6月に赴任し、7月には天皇皇后両陛下のモンゴル訪問大歓迎の熱気を身近で感じ、赴任早々貴重な経験をさせていただきました。また、とても過ごしやすい季節の赴任でしたが、8月下旬頃には肌寒くなり、宮崎県出身の私にとってはとても衝撃でした。

さて、皆様は「モンゴル」という国にどのようなイメージを持たれているでしょうか。力士やドラマ「VIVANT」、遊牧民、草原や砂漠が思い浮かんだ方が多いのではないかでしょうか。私自身、どこまでも続く広大な草原を目にした時は、感動したことを覚えています。また、都城市が1999年から友好交流都市として提携している首都ウランバートル市は、高層ビルが建ち並ぶ、いわゆる「都会」です。この都会の町並みと広大な自然の両方を味わえることがモンゴルの魅力だと感じました。



それでは、私が体験したモンゴルについて、ほんの少しですが、写真とともにいくつか紹介させていただきたいと思います。

まずは、やはり広大な自然です。宮崎県もとても自然豊かな土地ですが、モンゴルの自然は宮崎と違った魅力を持っています。私は、8月にハラホリンという地方へ旅行に行きました。車で片道4時間程度かかったのですが、モンゴルだと「近い」方なのだそうですね(笑)。道中は、どこまでも続く草原が広がっています。

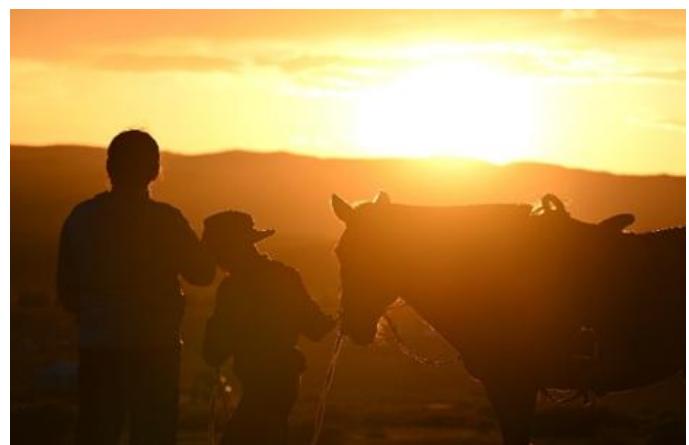


て、まるで異世界にでも来たようなワクワク感があり(ゲーム好きの私は、ゼ○ダというゲームの世界感と重なりました(笑))、またその景色をぼーっと眺めているだけの何もしない時間に心が洗われる感覚がありました。さらに、草原には数え切れない程の牛や羊、馬たちがいて、道路を集団で横切る光景も見られました。車で草原を走っている時は、舗装されていない道なき道を進む冒険のようなスリルもありました。

遊牧民のゲルに泊まった時は、まずカラフルでかわいらしい色味と模様の内装に心を奪われました。また、なんと言ってもゲルの過ごしやすさ!朝、夕の寒さを感じないだけでなく、窓がないのにも関わらず熱のこもらない仕組みになっており、とても快適な環境が整えられていて、昼寝に最高でした(笑)。また、モンゴルでは馬やラクダに乗る体験をることができます。



もちろん、落馬の危険性もあるため十分に気をつけなければなりませんが、馬やラクダに乗っての草原や砂漠の散策は日本では味わえない特別感がありました。



モンゴルにはこの記事だけでは語り尽くせない程、まだまだ魅力がたくさんあります。「モンゴルに行ってみたい・もっと知りたい」と思ってくれる方が少しでもいてくれたら嬉しいです。モンゴルの過ごしやすい季節は、ちょうど夏休みの時期です。是非、旅行先として“モンゴル”を検討してみてください!





「Anything is Game」意訳：「ジビエでも、なんでも、食えるなら、なんでも食う」

～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

食べ物には、見た目だけで引っかかったことがありますか？最初は凄く気持ち悪い姿で盛り付けられ、つい食べる気が失せた経験があるのではないかと。

しかし、どこからか勇気を無理やり引き出し、食べることに挑戦したこともありますよね？そこで、意外と美味しく食べられたのでしょうか？私が人生の半分を過ごしたサウス・カロライナには、食べ物に関して、もの凄くグロ系の例が山ほどあります。今回の記事では、そんなサウス・カロライナ料理をいくつかご紹介いたします。



サウス・カロライナ州

1) ぴょんぴょん

ひとまず提案するのは、サウス・カロライナのみならず、実は全体的にアメリカ南部で好かれている食べ物です。ただ、普段は小動物として可愛がっている人が多い日本人にとっては、少し引っかかるかもしれません。



さて、アメリカの南部では一体どんな動物を食うのでしょうか？

この諸方地域でいう「ビックキヨ」の言葉に、馴染みがある方もいるのではないかと。はい、アメリカの南部では、松尾芭蕉がずっと洞察を重ね、親しく詠んだ「蛙」を、なんと食べるのです。



定番の食べ方は、胴体から脚を切り離し、揚げるというものです。絶品であるかのように、プレートの周りに輪状に並べて盛り付けるコックさんもいれば、揚げたあとそのまま箱か紙袋などに入れて提供するお店もあります。綺麗に並べた場合には、中央に好みのソースを添えるのが一般的です。

2) がおおおおお

次にサウス・カロライナで食べるものは、まるで大昔からなんとか生き残ってきた恐竜のような身体をした「鰐」です。

意外にも食べ方はごく普通で、クセのない白身魚や鶏肉のような味で、揚げたり、シチュー（ガンボ）にしたり、串焼きにしたりするのが最も一般的です。

私の経験上、サウス・カロライナでは鰐を見かけるのがあまりにも普通の事で、「ワニを食べる」だけでなく、「ワニに餌をあげた」こともあります。行きつけのレストランのベランダから、射的ゲームのような感覚で、子ワニちゃんの開いた口に餌を投げ込んでいました。



3) コケコッコー

「サウス・カロライナってヤバくねえ！」と、読みながら思いましたか？確かに上記の文章を読めば、サウス・カロライナは「ヤバい」と思われても仕方がないかもしれません、皆様がすっかり馴染みこんだ日本は如何でしょう？都城を例に挙げれば、鳥刺しといった料理もありますでしょうか？ぱっと見れば、海外の人どころか、日本人同士も驚愕するかもしれません。果たして、生の肉を食べるよりも、きちんと火を通したビックキヨの脚を食べた方が、断トツで安全に消化できるのでは？

ま、兎にも角にも、皆様に知っていただきたいのは、アメリカ南部地方には「なんでも食う」というイメージがある一方で、そのおかげで見た目が面白く、しかもとにかく美味しい料理がたくさんあるということです。機会があれば、ぜひ心の準備をして食べてみてください！

追伸、

この記事の英語タイトルは、自作した駄洒落であり、興味がある方は英語の練習だと思って、解いてみてください！グーグル先生に訊いてもOK

編集部より

皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

今年のお正月は、さほど寒くもなく、過ごしやすい新年の始まりでしたね。年末年始休暇も長かったので、皆さん、いろいろとお出かけされたのではないでしょうか？我が家のお仕事は、今年のカレンダー作成です。カレンダーの主役は、もちろん、我が家の大愛犬アニーちゃん！去年撮ったたくさんの写真の中から12枚を厳選するのですが、いざ、選ばうとすると、なぜか寝ている写真ばかり…かわいい寝顔を見ていると、ついパチリ、と撮ってしまうんですよね。

今年はアニーちゃんといろんなところに行って、駆け回っている姿も収めねば、と誓った年の始まりでした。

[亀谷]

新年明けましておめでとうございます。

ところで、初日の出を見に行く日本人、どう見られている？

日本では元旦に初日の出を見に行く人が多くいます。でもこの話を外国人の人にすると、意外な反応が返ってくることがあります。

「え、わざわざ寒い中、朝早く起きて？」

「太陽は毎日昇るのに、なぜその日だけ特別？」

そんなふうに、不思議そうに聞かれることも少なくありません。多くの国では、新年は夜のカウントダウンが主役。年が明けた瞬間に盛り上がり、その後は寝てしまう人も多いようです。

そんな中で、日本人が静かに初日の出を待ち、一年の願いを心の中で思い描く姿は、「節目や始まりを大切にする人たち」「自然や区切りを大切にする人たち」と映るようです。

少しストイックで、でもどこか美しい習慣として受け取られることもあるみたいですね。

[富吉]

みなさんこんにちは！そして、新年明けましておめでとうございます。

今年の年末年始はとってもお暇だったので、友人の子どもちゃんがハマっているシール集めを手伝うべく、流行りのシールを探しまわっていました。今どきのシール、キラキラしてディティールも凝っていてかわいいです★

ポンボンドロップシールだの、うるちゅるシールだの(*'ω'*)我が家は見向きもしないのですが私と夫の方が詳しくなり、情報を集めては少しづつゲットしました。

次は何が流行るんでしょう・・・？

巷ではプロフ帳っていう噂もありますが、懐かしいな～(・ω・)当時、好きな男の子に頑張って渡した記憶があります。今はLINEがあるから、お手紙とかも書かなくなったので、プロフ帳、新鮮でしょうね♪

[中瀬]

なんと、もう2026年。体感的には、まだ2022年にとどまっているような気がします。

帰国して家族や友人と食事をして、つい辛いもの食べ過ぎてしまい、日本食に慣れていた胃が耐えきれず、胃腸炎になってしまいました。

中国はすっかり春節ムードで、街中は灯籠や中国結びで彩られ、まさに赤の世界です。何も買わなくても、ぶらぶらしながら「年貨」(中国お正月用品。飴やナツツ、春聯、縁起の良い飾りなど)を眺める時間そのものを楽しんでいます。

今年も馬鹿進むように。

[謝(しゃ)]

先週、神戸と大阪に旅行した時、一週間の間に計4本の映画を観に行きました。

着陸した直後、暇つぶしのために、カフェ兼アート系の映画館を偶然発見し、せっかく見つけた都城にはない貴重な映画館を見逃さず、幅広く様々な刺激的な4本を観ました。

一本目：ボディービルダー (アメリカ)

正直、こちらの作品の日本語字幕のクオリティは、そこまで優れていな

い可能性が十分にありえるとはいえ、それにしても是非観てほしい一作品です。主人公以外のキャラクターがスクリーンに映っていても映っていないなくても、主人公の寂寥感が滲みつつ、非常にリアルな人間性が溢れ出したストーリーを味わえます。

二本目：プラハの春 (チェコ)

初めて、海外映画を日本語字幕だけを頼りに観たのですが、放送局や政治が中心の内容にも拘らず、98%は理解できたと言って良いと思います。かなり自信満々 (当日書き留めた感想w) 歴史に興味を持つ方には、お薦めします。

三本目：白の花実 (日本)

ぶっちゃけ、良くも悪くも、ごく普通でした。意外性がない一方で、特に引っかかった部分もなし。良い点から言えば、料理か何かをしながら、ネットフリックスでバックグラウンドに流すものとして観れば、ピッタリ合うと思います。ある意味では、逆にその鑑賞法が心地よいかもしれません。

四本目：星と月は天の穴 (日本)

観る前に、チラシの雰囲気から見て、「待つ」やら「人間失格」やらを著作した誰かさんの人生を基にしたストーリーだと勘違いし、勝手に持っていた期待が裏切られたのです(笑) (ま、俺のせいやけど)

一言で表すと、兎に角「面白い」と思うところが多かったです。昭和っぽいセリフ、主人公が虚無感にくつろいだこと、主人公の人生のバランスを崩していくヒロインは、面白かったのです。しかし、あまりにも多量であった、正直そんなに長引く必要がなかった裸のシーンなどのため、お薦めするかどうかは貴方次第です。また、撮影の面から見ると、学校のカリキュラムの中でよく鑑賞した作品と似ていたため、自分が映画撮影・学習を専攻していた頃を懐かしく思い出したこともあります。

兎にも角にも、海外の映画について感想文を書くのが楽しいものなので、皆様も書いてみてください！せっかく楽しんでいたメディアを、新たな視点から観られるようになるかも

[セス]

あけましておめでとうございます。

昨年は一般社団法人都城国際交流協会の活動につきまして、会員の皆様をはじめ、ボランティアの皆様の御協力、御支援をいただき、各種イベント、日本語練習会等を開催することができました。深く感謝申し上げます。今年も最初のイベントである、「ワールドフェスタ2026」を2月8日(日)都城市総合文化ホールで開催いたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

今年もよろしくお願ひいたします。

[藤元]

初めて、神社の年越しカウントダウンに参加しました。初詣待ちの列に並んだり、ぜんざいの振る舞いを食べたりして、打ちあがる花火を見ながら新年を迎える。運転のために大晦日のビールを我慢したからこそ味わえた、新年の賑わいでした。

[迫田]

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

年末のお休みに初めてキャンプ場でテント泊まりをしました。キャンセル待ちもあるぐらい、いっぱいいいっぱいの予約が入っていることにビックリしました。ライトアップしているテント、おじいさんおばさんと一緒に三世代でワンコつれているご家族、徹夜しているんじゃないかなあと思うぐらいずっと焚火を楽しむカップル、部活のメンバーが保護者と一緒に元気いっぱい遊んだりしている風景は、今、何月だっけ？と思うぐらい賑わいででした。

何より、外で作る料理の美味しさ、大自然の中で目が覚めることが最高でした。2026年にも、季節ごとのキャンプを楽しもう！

[ソヨ]